

六ヶ所再処理工場でウランを利用した試験が始まります。再処理工場は原発で使い終わった燃料からプルトニウムを取り出す工場です。1年間で、長崎の原爆ならば1000個分ものプルトニウムを取り出しますが、その使い道ははっきりしていません。ところが再処理工場とMOX工場だけで、約12兆円もの費用がかかります。

再処理工場が運転を始めると、高い煙突や海中に設置した放水管から、空や海へ放射能が排出されます。フランスやイギリスの再処理工場、そして日本の東海再処理工場のまわりでも、プルトニウムやヨウ素、セシウム、ストロンチウムなどの放射能が確認されています。これらの放射能は、工場周辺の植物や動物を汚染し、子供たちに小児白血病を多発させている例もあります。

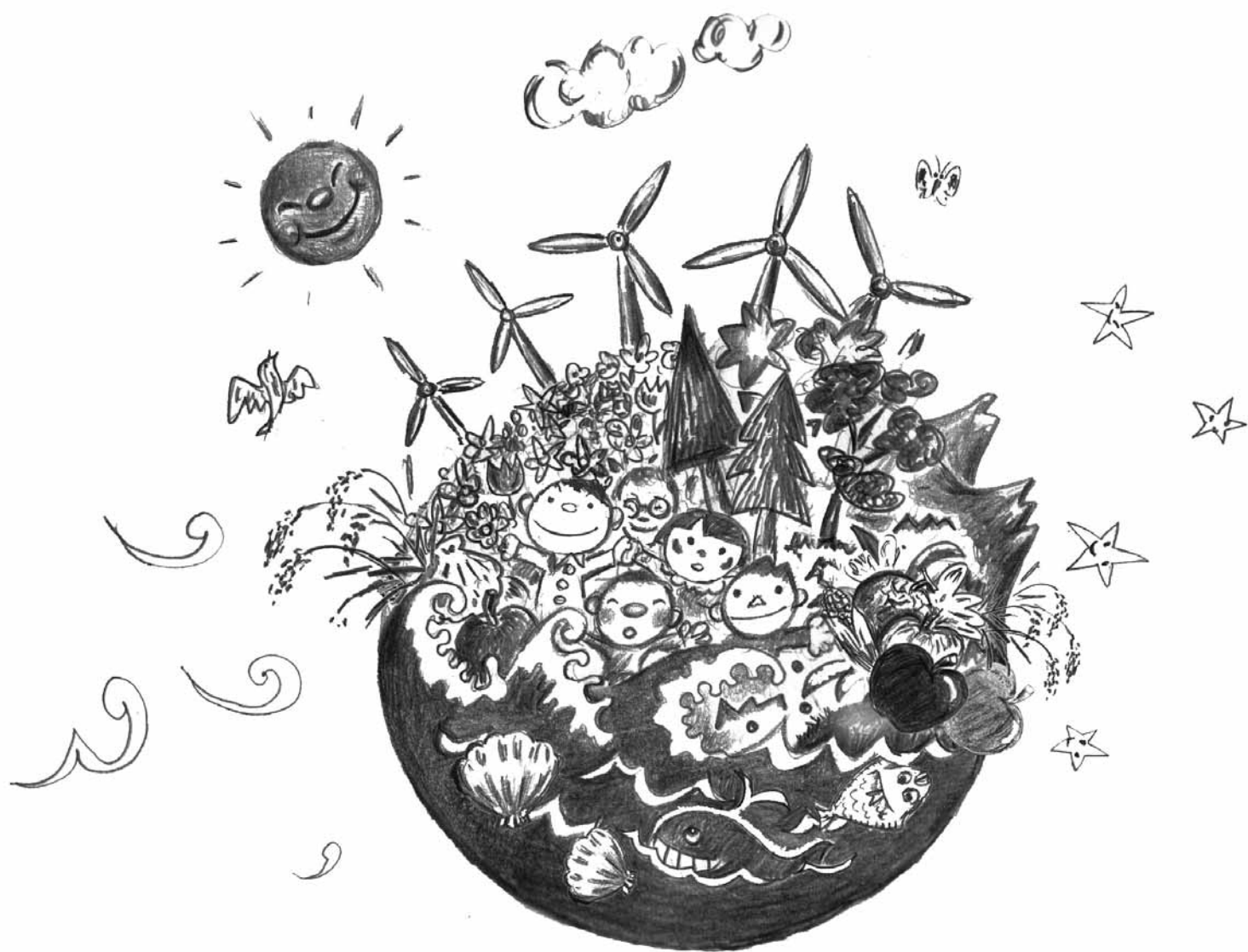
私たちは、青森の豊かな自然と将来の子供たちのために、六ヶ所再処理工場計画の中止を求めます。

# ウラン試験が始まって、再処理は止められる。 だから絶対あきらめない。 ストップ再処理！

チェルノブイリ原発事故(1986年)で大気中に出た放射能は、ヨーロッパの国々に降りそそぎました。多くの人々が原発の危険性に気づき、原発に依存しない社会をめざすようになりました。

ドイツでは、法律によって原子力発電所の廃止を決めました。20~25年後には、すべての原発が運転を止める予定です。また再処理も2005年7月以降は禁止され、使用済み燃料はそれぞれの原発敷地に貯蔵することになっています。

脱原発の動きが着々と進んでいます。そのため風力発電や太陽光発電、バイオマスなど、環境に大きな影響を与えない発電システムの開発を政府が先頭になって進めています。



**止めよう再処理！全国実行委員会**：原水禁国民会議／原子力資料情報室／グリーンピース・ジャパン  
(<http://www.gensuikin.org>) (<http://cnic.jp>) (<http://www.greenpeace.or.jp>)

**止めよう再処理！青森県実行委員会**：青森県反核実行委員会／核燃サイクル阻止一万人訴訟原告団  
(<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~genkoku>)  
**核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会**

賛同：青森県保険医協会／六ヶ所村漁場を守る会／核燃から郷土を守る上十三地方住民連絡会議／核燃から海と大地を守る隣接農漁業者の会  
 再処理工場について勉強する農業者の会／グリーン・アクション六ヶ所／花とハーブの里／牛小屋@六ヶ所／ネットワークみどり  
 核の中間貯蔵施設はいらない！下北の会／核燃いらないわ三沢の会／核燃を考える住民の会／核燃いらない十和田ネットワーク  
 核燃止めよう浪岡会／核の再処理はイラナイ・八戸の会／放射能から子どもを守る母親の会／弘前脱原発・反核燃の会／核燃を勉強する会

止めよう再処理！青森県実行委員会：青森市青柳1-3-14 (財)青森県社会文化センター内 TEL 017-775-7242 FAX 017-777-3238